

まつうら 市議会だより

第37号

平成27年11月1日

編集・発行
市議会だより編集委員会
電話(0956)72-0264

第3回
定例会



九電松浦発電所2号機建設地視察(9月18日)

社会保障・税番号制度(マイナンバー)に関する
条例の制定及び改正を可決
平成27年度松浦市一般会計補正予算
4億5千125万円の追加を可決

8月12日の集中豪雨で発生した災害の復旧事業費に予算約8千940
万円が計上されました。



まつうら市議会だよりは再生紙を使用しています。

平成27年 第3回定例会

平成27年第3回定例会を、9月4日(金)から9月15日(火)までの12日間で開きました。

今回の定例会では、松浦市特定個人情報保護条例の制定など条例10件、平成27年度各会計補正予算11件、その他の議案9件、報告2件及び認定4件の合計36議案が上程され、いずれも原案のとおり可決いたしました。最終日には、平成26年度松浦市一般会計決算認定及び各特別会計決算認定12件が追加上程され、8名の委員で構成する決算審査特別委員会を設置のうえ審査を付託し、議会閉会中の継続審査といたしました。また、人権擁護委員候補者推薦の諮問2件が上程され、推薦のとおり了承いたしました。

会期日程

9月
4日(金)

本会議

- ▽会期の決定
- ▽議長報告
- ▽市長の市政概況報告
- ▽監査報告
- ▽議会運営委員会の先進地調査報告
- ▽特別委員会の報告
- ▽市長提出の諸事項報告
- ▽議案の上程・説明・質疑・主管委員会付託
- ▽陳情の受理報告

5日(土)・6日(日)

休会

7日(月)・8日(火)

本会議

▽一般質問

9日(水)・11日(金)

委員会

12日(土)・14日(月)

休会

15日(火)

本会議

- ▽委員長報告・採決
- ▽追加提出議案の上程・説明・審議
- ▽特別委員会の設置・付託

一般質問

一般質問は、市政全般にわたる議員が執行者の考えを質すものです。本市議会では、議会運営上1人当たりの質問時間は60分以内(答弁と関連質問を含む)という取り決めになっています。今定例会では、9月7日と8日の2日間で7人が質問を行いました。

市議会だよりは、紙面の都合により質問項目のうち2項目以内で要点を簡略にまとめて掲載しています。(登壇順)

詳しくは、松浦市公式ホームページで公開する会議録または次の場所に備えている会議録をご覧ください。

- 市役所議会事務局
- 市役所各支所・出張所
- 市立図書館
- 市立公民館

議会の傍聴に
おでかけください。



次の定例市議会は

12月です。

議会はインターネット中継でもご覧いただけます。

松浦市公式ホームページを通じて生放送しますので、ご自宅のパソコンから視聴が可能です。

また、編集が終わりましたら、録画映像の配信も行います。

松浦市公式ホームページアドレス
<http://www.city-matsaura.jp>

お問い合わせは

議会事務局へどうぞ

TEL (0956) 72-0264

一般質問

安江
議員

○「つばき荘」問題について

質 裁判の費用は総額幾らか。

答 損害賠償金と経費を含めておよそ454万円です。

質 裁判の期間も5年間にわたり、費用も多額を要している。最高裁に上告しない今こそ、裁判所の判断を真摯に受け止めて全面解決のチャンスと考えるが、いかがか。

答 改めて関係者の方、市議会及び市民の皆様方にご迷惑、ご心配をおかけし、心からおわび申し上げます。
質 原告への謝罪はどう考えているか。

答 議会という公式の場において、おわび申し上げ、関係者の方々におかれましてもご理解頂きたいと思えます。

質 当時のプロポーザルのあり方を再検証し教訓を明らかにして、今後再び同じ問題が生じないようにすべきだが、いかがか。

答 裁判所の結果と照らしあわせて整理を行い、同種事案で関係者から疑義を持たれることがないよう、より丁寧、より慎重な対応をしております。

質 いつまでに整理を行うのか。

答 議会終了後、速やかに行いたいと思っております。

質 検証の内容と教訓はどのように公表されるのか。

答 公表の必要性を含め整理、検証する段階で判断いたします。

質 もう争いはやめてほしいと思っている市民に対し、納得のいくかたちを取るべきではないか。

答 どういう対応が望ましいのかは今後検討したいと思えます。

○高齢者等わくわく・おでかけ支援事業について

質 現状の利用状況はどうか。

答 平成26年度の利用実績は、対象者7千112人に対し申請者数4千142人、利用総額は約2千453万円です。利用率は、外出支援券が81・6パーセント、温泉優待券が14・7パーセントとなっております。

質 病院受診に助かっているが、半年間でタクシー券を使い切ってしまった。温泉は遠いので温泉券を使っていない。との声がある。温泉券利用率は14パーセントしかない。外出支援券と併用の考えはないか。

答 費用対効果等を含め制度の検証作業を行い、見直しを進めます。

質 支援制度の情報をお知りでない方や利用されていない方々を含め、この制度の検証はされるのか。

答 十分な周知とPRを行い、利用して頂ける制度にしてまいります。

一般質問

山口
議員

○つばき荘の現状及び課題対策について

質 新つばき荘が建設されて4年が過ぎ、問題点も出てきている。経営方針の改革も進められているが、厳しい経営の中でも必要不可欠な電気水道等の光熱費はとりわけ多く経営を圧迫している。他の施設と比較してどのくらい差があるのか。

答 統計調査による同業種の光熱費は、黒字経営で経費の5・8パーセント、赤字で9・6が目安となっております。つばき荘の場合、毎年20パーセントを超えている状況です。

質 福島の水道料金は他より高いうえに、多く使用するほど高い料金設定になっている。水道料金の調整はできないか。

答 水道料金の軽減とか免除とかいう措置はできませんが、国の指導により29年3月末までに簡易水道と飲料水供給施設が上水道の会計に統合されることとなっており、統合後は段階的に現在の簡易水道の料金も見直していくこととなります。

質 太陽光発電施設の設置は検討できないか。

答 国の制度等で活用できるものが

ないか検討いたします。

質 指定管理者において施設の整備や改善を施されているが、年々維持修理費も必要となってくる。指定管理料を設定して、安定的経営に向けた支援策を早急にとるべきではないか。

答 指定管理者である株式会社つばき荘の増収対策や経費削減対策など経営の取り組みについて十分に協議し、展望が開けるような経営健全化に向けての支援に努めたい。

○交通空白地帯の解消及び交通弱者対策について

質 高齢者率は年々高くなっています。特に交通の不便なところにお住いの高齢世帯の方、足腰の弱い方を運転できない方などは、買い物や通院に大変不自由をされています。住み慣れた土地で安心して生活できるように、交通環境づくりをすべきではないか。

答 交通弱者の方々に対しては重要な課題だと捉えております。鷹島の場合は、大橋架橋に伴い検討した結果、デマンド型の島内交通を導入しました。福島についても、小学校の統合を踏まえた対策が必要だと考えます。公共交通活性化協議会の中で十分に検討し進めてまいります。

一般質問

川下
議員

○情報インフラ整備について

質 光回線はADSL回線に比べ通信速度も速く、容量も大きいうえに環境に左右されない安定感がある。このような情報インフラを整備する事は、暮らしの利便性向上と魅力あるまちづくり、企業誘致に向けた宣伝力アップ、更にテレワークと呼ばれる新しい就業形態による雇用や起業の創出などの契機につながる。すなわち本市の地方創生における総合戦略や中長期的な総合計画の基盤となるものであり、早急に整備すべきと考える。本市における光回線エリアの現状についてお尋ねします。

答 通信事業者に確認したところ、一般で光ファイバー回線が使えるのは、志佐と調川の一部だけです。本土と福島、鷹島間にも整備されていますが、回線は一般に提供するだけの余裕がないとのことです。

質 支所まで光回線が届いている福島と鷹島での今後の展開を伺います。

答 市内の各地区間で格差がありますので当然解消していかねければなりません。行政だけでは経費負担等の問題がありますので、通信事業者

と連携して協議し、解消が図られるよう検討してまいります。

質 松浦市全体としての今後の展開についてお聞きしたい。

答 市全体が、都市部との情報格差がないように取り組まなければなりません。市として格差解消にどういう整備が必要なのか、現在、まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で施策として組み入れることができないか検討しております。

○松浦高校と松浦市の関わり方について

質 松浦高校は本市における唯一の高校ですが、入学者数も減少傾向にあり、本年7月の段階でも志望者数は定数の半分を下回っている状況である。市としても松浦高校に積極的

答 松浦高校の課題は、松浦市全体の課題でもあります。いま取り組んでいる支援策の検証を行い、また魅力向上に関する様々なご提案を頂きながら、学校とも積極的に協議をしていきたいと思っています。

これまででは、保護者の経済負担軽減を支援の柱としておりましたが、今後は生徒にも選ばれる魅力ある学校づくりに視点を移した支援制度も検討してまいります。

一般質問

森田
議員

○道徳教育について

質 現在、市内の小中学校の道徳教育や道徳の授業時間の現状はどうなっているか。

文部科学省は本年3月27日、小中学校の道徳教育を教科に格上げする新学習指導要領を告示されたところから、実施は、小学校が平成30年度から、中学校が31年度から導入されます。

道徳教育に対して、各小中学校にどのような指導をしていかれるのかお尋ねします。

答 現状におきましては、学習指導要領に基づき、年間指導計画を作成し、全ての学級で週1時間、年間35時間以上を実施しています。また各教科や特別活動の中でも道徳的な指導を行っております。

新たな指導要領に基づく指導内容としましては、特別の教科道徳の導入経緯と趣旨を理解することや指導体制の見直し、教職員の指導力向上が必要で、また授業の評価や家庭と地域との連携の強化が求められるものと現段階では考えております。

○高齢者等わくわく・おでかけ支援事業について

質 この事業は、平成24年度から始まり今年で4年目となります。

この事業の支援の内容について、以前から御厨、星鹿、青島等の複数の高齢者からは、鷹島や福島の温泉にはあまり入りには行かないので、その分、外出支援の方を増やしてもならないか、という意見をお聞きます。この要望に対して、前向きに見直しを検討して頂けないかをお考えをお尋ねしたい。

答 ご質問の趣旨は、外出支援券と入浴優待券を見直したらどうかとお尋ねですが、この事業は高齢者の皆様の社会参加、あるいは健康増進を目的とする制度でありますのでご理解頂きたいと思います。

ただ、ご指摘がありますように、費用対効果を含めて検証し、この制度も見直す必要もあらうかと思えます。ご高齢の皆様に対し、長年のご苦勞への感謝の念と、これからも健康で楽しく住み慣れた地域で安心して住んで頂くためには、検証していく中で、市としてどのような支援が望ましいのかを見極める必要があります。そして高齢者の皆様に喜んで頂けるような見直しを行わなければならないと思っております。

一般質問



武 辺
議 員

○長崎・佐賀両県の地方創生に関わる連携協定締結に対する本市の対応について

質 中核都市と近隣の市町が連携協約を締結し、圏域の活性化と活力ある社会経済を維持形成しようとする連携中枢都市圏構想があります。

佐世保市が、この中核都市を見据えて法律に基づく中核市へ移行する場合には、本市の役割や参画方法をどのようにお考えかお聞かせください。

答 佐世保市を中心に連携エリアを形成すれば、お互いにメリットがある市町間で分野ごとに広域的な取り組みが可能となります。本市の場合も連携すれば様々な事業でメリットがありますのでしっかりと検討いたします。

質 長崎、佐賀両県の連携協定が8月17日に締結され、協定には県境周辺振興という項目が入っています。本市にとつては非常に重要な内容です。公共施設の効果的かつ効率的な管理運営を図っていくことも可能になると思います。どのような対策をお考えですか。具体策を県に提案する計画はありますか。

答 西九州道の整備促進、企業誘致や伊万里湾の開発振興、体験型旅行事業による交流人口の拡大、消防救急医療の連携などが具体的な案として考えられます。県境であることをプラスと捕らえ、効果的な提案を行ってまいります。

○第2期福岡都市圏交流促進基本計画について

質 第1期福岡都市圏交流促進基本計画の総括と第2期計画の内容をお知らせください。

答 1期計画では、ソフトバンクホークスとの交流宣言締結、グルメや歴史などのツアー企画、福岡事務所開設、ファンクラブ会員の募集、アンテナショップ開設を行いました。調査によれば本市の認知度かなり上がっております。次の計画では、福岡事務所に設置したシティプロモーション推進員を軸に、具体的な視覚と味覚で訴える松浦のファン増加策を進めたいと考えます。

質 アンテナショップの24年と25年の売り上げを比較すると、飲食部分は伸びていますが物品販売の落ち込みが顕著です。消費動向や商品の売れ行きなどの情報収集が不完全だと思えます。どのように分析していますか。

答 情報の発信に重点を置いておりますので、物販の面では弱いと思います。もつと広くお客様に周知していく必要があると考えます。

一般質問



久 枝
議 員

○地元企業に電気料金補助制度設置について

質 松浦市は、電源地域として長崎県に多大な貢献をしている。県には電源移出県等交付金が年間約6億円入る。九電2号機の建設再開に伴い交付金は当然増える。地場企業に対し、市として電気料金で何らかの支援ができないものかと思う。市は地場企業をどのように定義しているか。

答 市内での事業実績が5年以上の企業を地場企業としています。

質 ここ5年間で何社の進出があったか。

答 26年度までの3か年で製造業3社の進出がありました。

質 進出企業の雇用者数は何人位か。

答 約80名の雇用となっております。

質 電気料金の補助制度を設けている自治体もある。市として補助制度や何か適用できる支援策はないか。

答 現在のところ電気料金の補助を行う制度はありません。

考えるかどうか。

答 県に確認をしましたが、交付金の活用方針としては、企業誘致に係る工業団地整備やその関連事業、広域的な事業効果が見込まれる地場産業振興に資する事業と定められております。ご提案の趣旨に対しては、広域的な事業効果の面からこの交付金の活用は難しいと考えます。

○離島(飛島、青島、黒島)等に議会中継のネットサービスについて

質 本土と格差のないネットサービスの提供が必要ではないか。

答 現在、原子力災害対策の一環として一時退避施設の整備を進めており、防災情報とあわせて議会中継等の情報配信を進めてまいります。

質 離島の方々が議会で中継でも見られて、市政が話題にでもなればと思う。モニター等の設置場所はどこが適当と思うか。

答 防災上の情報収集などの観点から一時退避施設に設置するのがよいと考えます。

質 電源立地交付金等で整備事業費の捻出はできないか。

答 電話回線の接続とパソコン等の機器を設置することが主でありますので、特に補助事業というものの活用は考えておりません。

一般質問

宮本
議員

○松浦まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

質 松浦市は現在、人口が減り続けております。人口がどんどん減り、人が住まなくなれば、松浦市は消えてなくなりそうです。人口流出の歯止めと人口増加策を重点的にやって頂きたいと考えます。

そこで、松浦まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に関しては、どういう方向でやられるのか、議会に對しても総合戦略策定を国に提案する前に十分に説明をして頂きたいと思いますが、ご所見をお聞きます。
答 総合戦略につきましては策定中でありまして、この間、議員各位の皆様からもご意見を頂いております。策定の方法も当初から市議会並びに市民の皆様からご意見を頂く方針であります。現時点で内容も大分固まっておりますので、再度、市議会の皆様にもご意見を頂く機会を設定したいと考えております。

○松浦高校を地域社会と市民で応援することについて

質 松浦高校は、市内で唯一の高等学校です。これまで松浦高校を魅力ある高校とするための並々ならぬ市長の決意を伺ってまいりました。市長も早速行動を起こされ、魅力ある高校づくりに支援の取り組みを進められております。市役所内でも、支援するための体制を強化する必要があると思いますが、市長のご所見をお伺いします。

答 市内唯一の高校である松浦高校を、何としても魅力ある高校につくり上げていかなければならないと思っております。まち・ひと・しごと創生総合戦略の中でも組み込んでいかなければならないと考えます。先に松浦高校の校長先生とも意見交換を行い、学力の問題や部活の問題等の課題について共通の認識を持ったところであります。議員ご指摘のとおり、市役所にも松浦高校OBの職員が約170名おりますことから、この職員を中心とした松浦高校の魅力向上に取り組む体制づくりを既に進めております。ただ、市役所職員だけで達成できるものではありませんので、議会、市民、松浦高校及び行政が一体となって効果的な支援策を検討し、実行に移していきたいと思っております。

常任委員会の審査概要

総務委員会

【議案】平成27年度松浦市一般会計補正予算（関係分）

来年1月16日開催の市政施行10周年記念事業の関連経費として、松浦市の市歌作成費108万円が計上されました。

合併前の旧福島町、旧鷹島町には町歌がありました。旧松浦市には市歌はありませんでした。子どもからお年寄りまで歌える曲を作り、合併後の市の一体感を醸成することを目的として作成されるものです。

委員会では市歌の必要性や作成期間に関して質疑が出たほか、10周年を機に作成するのはふさわしいなどといった活発な議論が飛び交いました。

福島支所バス待合所設置事業費として621万円が計上されました。

支所の一部を改修し、バスの待合所として利用できるスペースを新設

するもので、一般の人の触れあいの場所としても開放されます。

平成28年4月からは、小学校の統廃合に伴い現在の養源小学校校区の児童生徒約30人がこのバス停を利用することとなるため、その安全面の確保にもつながります。

【議案】松浦市消防本部・消防署庁舎新築工事（建築 庁舎棟）請負契約の変更について

この議案は、東日本大震災の復旧事業など公共工事が拡大したことにより、国において資材単価と労務単価の見直しが行われ、適切な賃金水準を確保する観点から通達に基づき契約金額の見直しが行われたものです。

契約金額は、約1千925万円が増額され、併せて工事工程の見直しにより工期が13日間延長されました。

理事者によれば、庁舎工事は順調に進捗しており、今後も適切な施工管理を行い工期の短縮に努めたいとのことでした。

文教厚生委員会

【議案】平成27年度松浦市一般会計
補正予算(関係分)

来年、長崎県下で開催されるねんりんピック長崎2016開催に関連し、松浦市で開催するバウンドテニスふれあいスポーツ交流大会関連経費として、松浦市バウンドテニス協会設立補助金50万円が計上されました。大会に向けて、競技者の確保と競技力向上が図られます。

学校耐震化関連経費として、今福中学校校舎及び調川中学校屋内運動場の測量調査設計委託料1千400万円が計上されました。耐震化の整備が着実に進むことにより、児童生徒の安全な生活環境整備が図られます。

なぎなたのまち松浦を掲げる本市の取り組みとして、競技人口の拡大とジュニアの強化育成を図るための経費、及び中学校の授業で使用するなぎなた用備品や消耗品の購入費として211万8千円が計上されました。県のスポーツ推進事業補助金等の財源を活用して行う事業で、更なる本

市の競技力向上が期待されます。

産業経済委員会

【議案】平成27年度松浦市一般会計
補正予算(関係分)

商工費関係予算として、鷹島汽船に対する航路運航費負担金2千259万円が計上されました。これは、国と県の補助金を活用して航路運航経費の欠損に充てて交付されるもので、阿翁御厨航路及び殿ノ浦今福航路に対し、国が約1億274万円、県が市と同額の2千259万円を措置することとなっています。

災害復旧関係経費として、本年に発生した豪雨により被災した農地農業用施設の災害復旧事業に係る工事費予算約5千万円が計上されました。農地16か所、農業用施設9か所の復旧工事が進められます。

九州電力株式会社松浦発電所2号機建設再開に関し、これまで建設工事が中止していたため中断されていた電源立地対策交付金の交付が、平

成28年度から再開されるとの説明が理事者からありました。これまで交付が凍結されていた交付金の総額は約13億2千万円で、今後の公共工事整備等の財源として活用する意向が示されました。



【九電松浦2号機建設地】

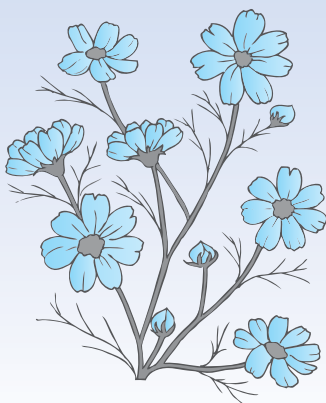
委員会を

傍聴するには

各委員会での審議は一般に公開され、どなたでも傍聴することができます。

次の事項に留意の上おいでください。

- ・会議当日の開催時刻(通常は10時開会)の40分前から20分前の間に申請を議会事務局で受け付けます。
- ・各委員会の定員は6人です。
- ・希望者が定員を超えたときは、受付終了後に抽選により傍聴者を決定いたします。



特別委員会の動き

西九州自動車道整備促進特別委員会

8月10日、松浦市において、伊万里・平戸・松浦市議会・佐々町議会・西九州自動車道建設促進協議会総会が開催され、西九州自動車道の早期完成に向けた平成27年度の活動計画等を決定するとともに、「道路整備予算の確保等に関する決議」（下段に掲載）を全会一致で採択し、政府及び関係機関へ決議文を送付いたしました。

8月31日、協議会の活動計画に基づき、佐賀・長崎両県知事、佐賀・長崎両県議会議長並びに佐賀国道事務所長、長崎河川国道事務所長に対し、唐津伊万里道路、伊万里道路、伊万里松浦道路、松浦佐々道路の事業促進と早期完成及び道路整備予算の安定的な財源確保を要望いたしました。

各機関とも、予算確保が重要であり、ミッシングリンクの早期解消に向け、一致協力して取り組んでいきたいとの回答を頂きました。

また、両国道事務所長からは、西九州自動車道整備に伴う投資効果を

財政当局に訴えていく必要がある、沿線自治体と協力しながら円滑な事業執行を目指したいとの考えが示されました。



佐賀国道事務所



長崎河川国道事務所



佐賀県議会



長崎県



長崎県議会

道路整備予算の確保等に関する決議

道路は、国民の生活、経済及び社会活動を支える最も基礎的な社会資本であり、地方分権や地域振興を推進していく上で整備の重要性は一層高まっている。

九州本土の西端に位置する本地域（佐賀県伊万里市、長崎県平戸市、松浦市、佐々町）にとつて、西九州自動車道の全線開通は、福岡市や九州の主要都市間の移動時間短縮、高速定時制の確保を実現するものであり、地域経済の活性化、観光の振興等に必要な不可欠の要件である。加えて、救急患者の搬送時間短縮等、広域救急医療を支えるほか、災害時における緊急避難・輸送道路として、多面的な役割を有しており、一日も早い完成が望まれる。

地方にとつて道路網整備は、真に自立した地域社会の構築を図るための生命線であり、十分な道路整備財源を確保することが必要である。

よつて、国におかれては、本地域の実情を十分ご賢察いただき、下記の事項について特段のご配慮を賜るよう強く要望する。

記

1. 高規格幹線道路の整備は、国の責任において着実に実施し、早期の実現を図ること。
2. 未整備区間を抱える地方の実情・ニーズを十分に把握し、その整備に必要な財源を優先配分すること。

以上、決議する。

平成27年8月10日

伊万里・平戸・松浦市議会・佐々町議会・西九州自動車道建設促進協議会

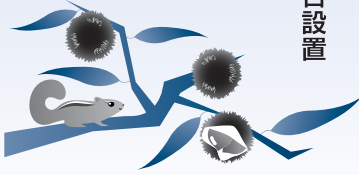
決算審査特別 委員会を設置

平成26年度の一般会計決算及び各特別会計決算を審査するための決算審査特別委員会を設置しました。

委員構成は次のとおりです。

委員長	神田 稔
副委員長	徳田 詳吾
委員	森田 隆司
	安江 結子
	高橋 勝幸
	崎田 廣美
	椎山 賢治
	白石 光一郎

平成27年9月15日設置



議会運営委員会の先進地調査

平成27年7月6日から7月8日までの3日間、神奈川県逗子市の議会運営における情報端末機器の導入状況について、愛知県大府市おおふの議会改革と委員会活動活性化の取り組み状況について先進地調査を行いました。

【逗子市】

逗子市は、神奈川県南東部の相模湾に面し、横浜市、鎌倉市、三浦郡葉山町、横須賀市と隣接します。昭和40年代からは新興の高級住宅街が造成され、東京や横浜のベッドタウンとして人口は増加しました。景勝十選と称される観光名所のほか鎌倉、葉山などとともに海水浴場のある観光都市としても有名です。人口約5万7千600人を有します。

【調査概要】

逗子市議会は、平成23年3月定例会の一般質問でタブレット端末の導入が提案されたことに端を発し、議会活性化推進協議会で検討協議を重ね、24年11月議会と同端末9台を使って実証実験を行い、25年6月定例会からは議員を対象に導入しています。同年11月定例会からは、理事者側もすべて端末を導入し、全国では初のオールタブレット議会が実現しています。

導入に至った訳は、理事者側から提示される膨大な資料の中には、誤植等による差替え作業に時間がかかったり、紙と時間に無駄があったり、見づらいつの指摘があったり、また、委員会審議中にも資料作成に時間がかかり、審議もたびたび中断せざるを得ないといった議会運営上の改善が必要であったためとのことです。

導入に際しては、まずはタブレット端末に慣れてもらうために過度な制限は設けず、いつでも、どこでも

使用できるようにと議員の良識に委ねられていました。資料の範囲についても、個人情報以外は特に制限が無いのが原則となっています。運用体制は、ICT推進部会を設置し、適正使用についての検討が行われています。



逗子市議会

逗子市議会の取り組みは、議会運営上メリットがあると思われます。特に、議員が豊富な情報を保有することができれば、議員活動の幅が広がると期待できます。

タブレット端末を導入したことで、議員は豊富なデータを常に持ち歩くことができ、市民からの質問等にも素早く対応することが可能になったとのことです。また、委員会等での審議も充実し、議員個人の更なる資質向上につながることを期待されるとのことでした。今後、本市においても活用方法等の検討を行うべきだと感じました。

【大府市】

大府市は、愛知県西部の知多半島北端に位置し、北部は名古屋市に、東部は三河地方に接し、古くから交通の要衝として発展してきました。市域の大部分はなだらかな丘陵地からなり、愛知用水を利用した近郊農業が行われています。また、自動車産業が盛んな工業都市でもあり、市南部には健康・医療・福祉・介護関連の機関が集中して立地しています。人口約8万9千400人を有します。

【調査概要】

大府市議会では、身近な改善を続けていくことが議会の活性化には欠かせないという方針を掲げられ、全国的に取り組みが加速している議会基本条例制定や議会報告会の開催とは一線を画した議会改革が進められています。

議会活性化の取り組みは平成17年度から行われており、議員政治倫理条例の制定、音声が即座に文字変換される音声認識会議録作成支援システムの導入、議案の賛否を議会だよりとホームページで公開するなど開かれた議会運営に取り組みられています。

委員会活動も年間の活動テーマを決めて運営されています。勉強会を開いたり、関係団体との情報交換を実施したり、テーマに沿った行政視察を行ったりして、得られた情報をもとに執行部に対する政策提言も行っています。

いずれの取り組みも市議会運営に有意義なものと感じました。特に、委員会活動の一環として政策提言をされているところは大変参考になりました。

本市議会としても大府市議会の考

え方には共感するところが多く、身近な改善という位置づけで、今後も議会改革を進めていくべきだと思います。



大府市議会

傍聴のしかた

本会議は一般に公開され自由に傍聴できます。

傍聴を希望される方は、市役所5階の傍聴席入口にある傍聴者名簿に住所・氏名・年齢を記入して入場してください。

傍聴席での飲酒、喫煙は禁止されています。また、録音・写真撮影・ビデオ撮影等は事前に許可を必要とします。

その他入場の際の禁止事項を入口に掲示しておりますのでご確認ください。





8月

2日◇東彼杵道路建設促進期成会総会
(川棚町)

6日◇全員協議会

◇九州電力松浦発電所2号機対策特別委員会

10日◇伊万里・平戸・松浦市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会総会

17日◇長崎県後期高齢者医療広域連合議会定例会 (長崎市)

18日◇長崎県市議会議長会臨時総会 (南島原市)

19日◇長崎県市議会議員研修会 (南島原市)

24日◇北松北部環境組合定例会 (平戸市)

28日◇議会運営委員会

31日◇伊万里・平戸・松浦市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会による要望活動 (長崎市、佐賀市)

9月

4日～15日

◇第3回市議会定例会

8日◇市議会だより編集委員会

15日◇全員協議会

18日◇企業対策特別委員会

◇松浦発電所視察

10月

9月30日～2日

◇総務委員会行政調査

(長野県岡谷市、駒ヶ根市)

6日◇決算審査特別委員会

13日◇鷹島黒島地区放射線防護施設視察

14日◇市議会だより編集委員会

16日◇決算審査特別委員会

19日～21日

◇文教厚生委員会行政調査

(青森県五所川原市、秋田県大仙市)

27日◇決算審査特別委員会

28日◇決算審査特別委員会

29日◇決算審査特別委員会

29日◇決算審査特別委員会

編集後記

肌寒くなり季節も秋から冬へと移り変わりが感じられるようになりましたが、いかがお過ごしでしょうか。現在、全国の市町村では市民も参加しての地方創生に向けた計画づくりが進められています。

松浦市も年々人口は減り続けています。公表された説によれば、本市も消滅可能都市の中に含まれており、生き残るための総合戦略の策定と実行が求められます。

計画の推進には、市役所や議会といった行政だけではなく、多くの市民の皆様と団体等の知恵と行動力を必要とします。

市民の皆さんも松浦市の将来を考え、市の取り組みを検証し評価して頂くうえでも、ぜひ多くの方々に市議会的一般質問や委員会の様子を傍聴頂ければと願っています。



編集委員会

市議会だより編集委員会

委員長 白石光一郎
副委員長 神田 稔
委員 徳田 詳吾
委員 宮本 啓史
委員 山口 芳正
委員 久枝 邦彦

議案等の審議結果

条 例	○松浦市特定個人情報保護条例の制定について	可決(全員)
	○松浦市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定について	可決(全員)
	○松浦市個人情報保護条例の一部改正について	可決(全員)
	○松浦市職員の再任用に関する条例の一部改正について	可決(全員)
	○松浦市長の給与の特例に関する条例の一部改正について	可決(多数)
	○松浦市税条例の一部改正について	可決(全員)
	○松浦市手数料条例の一部改正について	可決(全員)
	○松浦市多目的集会施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決(全員)
	◇松浦市港湾施設条例の一部改正について	可決(全員)
	◇松浦市公営住宅条例の一部改正について	可決(全員)
予 算	◎平成27年度松浦市一般会計補正予算(第2号)	可決(多数)
	□平成27年度松浦市青島診療所事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	□平成27年度松浦市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)
	□平成27年度松浦市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	□平成27年度松浦市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	◇平成27年度松浦市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	□平成27年度松浦市福島診療所事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	□平成27年度松浦市鷹島診療所事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	◇平成27年度松浦市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	◇平成27年度松浦市松浦魚市場特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)
	◇平成27年度松浦市臨海土地造成事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
その他	○損害賠償額の決定について	可決(全員)
	□損害賠償額の決定について	可決(全員)
	□福島地区小中学校校舎改築 小学校棟建築工事請負契約の変更について	可決(全員)
	□福島地区小中学校校舎改築 共有棟建築工事請負契約の変更について	可決(全員)
	○松浦市消防本部・消防署庁舎新築工事(建築 庁舎棟)請負契約の変更について	可決(多数)
	○松浦市消防本部・消防署庁舎新築工事(電気設備)請負契約の変更について	可決(全員)
	○新市建設計画の変更について	可決(全員)
	◇平成26年度松浦市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決(全員)
認 定	◇平成26年度松浦市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決(全員)
	◇平成26年度松浦市水道事業の決算認定について	可決(全員)
	◇平成26年度松浦市工業用水道事業の決算認定について	可決(全員)
	◇平成26年度松浦市下水道事業の決算認定について	可決(全員)
	◇平成26年度松浦市交通事業の決算認定について	可決(全員)
	▼平成26年度松浦市一般会計の決算認定について	継 続 審 査
諮 問	▼平成26年度松浦市各特別会計の決算認定について(12件)	継 続 審 査
	◎人権擁護委員候補者の推薦について(福島町 前田公子氏)	了承(全員)
	◎人権擁護委員候補者の推薦について(今福町 近藤敦臣氏)	了承(全員)

(注) 文頭の記号は審査の付託先を表しています。

◎・・・各常任委員会へ分割付託 ※・・・委員会付託を省略し全員審査
 ○・・・総務委員会 □・・・文教厚生委員会 ◇・・・産業経済委員会
 ▼・・・決算審査特別委員会